

第36回 オートサービスショー2019

未来サービスに向けて、いよいよ開幕!!

期間 2019年5月16日(木)~5月18日(土)

会場 東京ビッグサイト【青海展示棟 A・Bホール】

皆様のご来場を心よりお待ちしております!



バンザイブースは
Bホールです



BANZAI NEWS

2019
Spring
310

特集
BANZAI NEWS

“顧客・従業員とのエンゲージメント”に
CASE技術の進化・普及をどう活用する?



BANZAI 株式会社 バンザイ <http://www.banzai.co.jp>

本社
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6880
E-mail: eigo@banzai.co.jp

札幌支店
札幌市西区24軒1条7-3-10
TEL 011-621-4171
E-mail: sapporo_br@banzai.co.jp

東京支店
東京都港区芝浦4-16-23 AQUACITY芝浦8F
TEL 03-3769-6840
E-mail: tokyo_br@banzai.co.jp

広島支店
広島市西区南観音2-7-10
TEL 082-233-3201
E-mail: hirosima_br@banzai.co.jp

●営業所 旭川・青森・秋田・盛岡
郡山・山形・新潟・長野
前橋・宇都宮・水戸・埼玉
千葉・横浜・静岡・多摩
北陸・三重・京都・神戸
高松
●出張所 帯広・函館・富山・松山
岡山・山口・山陰・長崎
大分・熊本
●販売会社 バンザイ九州販売(株)
バンザイ沖縄販売(株)

営業部
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6881

仙台支店
仙台市宮城野区福室2-8-21
TEL 022-258-0221
E-mail: sendai_br@banzai.co.jp

名古屋支店
名古屋市中千種区青柳町6-26
TEL 052-732-2600
E-mail: nagoya_br@banzai.co.jp

福岡支店
福岡市博多区那珂5-3-15
TEL 092-411-1261
E-mail: fukuoka_br@banzai.co.jp

海外販売部
東京都港区芝浦4-16-23 AQUACITY芝浦8F
TEL 03-3769-6894

関東支店
埼玉県北本市朝日4-553
TEL 048-590-3700
E-mail: kanto_br@banzai.co.jp

大阪支店
大阪市長田東3-3-11
TEL 06-6744-1041
E-mail: osaka_br@banzai.co.jp



ISO9001-ISO14001
自動車整備用部品検査用機器の設計開発販売サービス
バンザイでは「顧客第一主義」を信条に
お客様とのきずなを大切に、
お客様満足度の向上を図っております。



富士山と桜 山梨県 新倉山浅間公園

青空を背景にきりっと端正な姿でたたずむ富士山。富士吉田の市街地をはるかに見おろす新倉山浅間公園は、桜と富士山の絶妙な取り合わせが人気。お花見の季節には大勢の観光客でにぎわいます。

★歳時記

- 4月 18日 発明の日
- 29日 昭和の日
- 5月 3日 憲法記念日
- 4日 みどりの日
- 5日 こどもの日
- 6月 5日 環境の日
- 10日 時の記念日
- 22日 夏至



●目次

- ★特集 “顧客・従業員とのエンゲージメント”にCASE技術の進化・普及をどう活用する?..... ①
【第1回】「経営理念を基にした商品・サービスの開発」と「Autonomous(自動運転)」
- ★モデルショップ訪問【奈良スバル自動車株式会社 大和郡山店】..... ⑥
最新の店舗、設備でスバル車の魅力を発信
奈良県中央部エリアに、最新の旗艦店舗を完成
- ★モデルショップ訪問【広島ヨベット株式会社 廿日市店 GR Garage HATSUKAICHI】..... ⑧
トヨベット店・GRガレージの複合拠点化で
より来店しやすく、楽しい店舗コンセプトを実現
- ★ショールーム ⑩
- ★ロータリー..... ⑫
- ★BANZAIガイド..... ⑬

特集 BANZAI NEWS

第1回

「経営理念を基にした商品・サービスの開発」と「Autonomous(自動運転)」

“顧客・従業員とのエンゲージメント”にCASE技術の進化・普及をどう活用する?



「CASE」(=Connected(コネクテッド)、Autonomous(自動運転)、Shared & Services(シェアリング)、Electric(電動化))と呼ばれる先進技術が近年急速に進化・普及しています。その中で、サービスショップが今後数十年にわたり勝ち残っていくためには、それらに対応するのみならず、事業拡大に活用していくことが肝要となります。当新連載「顧客・従業員とのエンゲージメント」にCASE技術の進化・普及をどう活用する?」では、各CASE技術の現状を振り返りつつ、それらをどう“顧客・従業員とのエンゲージメント”に活用できるかを、一つずつ考えていきたいと思ひます。



2016年9月のパリモーターショーで「CASE」を発表するダイムラーのディーター・ツェツェCEO

2016年9月のパリモーターショーにおいて、ダイムラーのディーター・ツェツェCEOが、メルセデス・ベンツ乗用車部門の中長期戦略における4つの柱として掲げ、今や自動車業界全体が取り組むべき共通課題として広く認識されている「CASE」。

- **Connected (コネクテッド)**
- **Autonomous (自動運転)**
- **Shared (シェアリング)**
- **Electric (電動化)**

この中で、サービスショップの皆さんにとって最も身近なものはどれでしょうか？

こう質問すれば、ほとんどの方が「A」、自動運転と答えるはず。それほどまでに自動運転…正確に言えば「ADAS」(先進運転支援システム)ですが…の技術は、いま日本で広く普及しています。

国土交通省の調査によれば、2016年に国内で生産された新車乗用車のうち、衝突被害軽減ブレーキは66.2%、ペダル踏み間違い時加速抑制

装置は47.1%、レーンキープアシスト (LKA) は13.7%に、アダプティブクルーズコントロール (ACC) は38.7%に装着されているのです。

また政府は2017年より、高齢運転者による事故防止への寄与度の高いADAS技術の搭載車を「安全運転サポート車」(サポカーS)と位置付け、普及・啓発活動を開始。このうち衝突被害軽減ブレーキについては、2020年までに新車乗用車搭載率を9割以上とする目標を掲げています。

そして今後、高速道路でのレベル3自動運転と限定地域でのレベル4自動運転は2020年を目途に、高速道路でのレベル4自動運転は2025年を目途に実用化するという構想を立てています。

こうした状況を踏まえて政府は2019年3月8日、道路運送車両法の改正案を閣議決定。保安基準の対象装置に「自動運行装置」を追加、「分解整備」の範囲をADASの整備にまで拡大。名称も「特定整備」とし、自動車メーカーに対し点検整備に必要な技術情報を特定整備事業者へ提供することを義務付ける方針を固めました。

なお、車検の際に法定のスキヤンツールを使用してADASなどの状態を検査する「OBD検査」も、2021年10月以降(輸入車は2022年10月以降)の新型車を対象とし、2024年10月(輸入車は2025年10月)より開始される見込みです。

このように、サービスショップの皆様がADASの点検整備に対応するのは、最早「待たなし」の状況となっているのです。

現在(実用化済み)	2020年まで	2025年を目途	時期未定
レベル1 自動ブレーキ レーンキープアシスト	レベル2 アダプティブクルーズコントロール レーンキープアシスト	レベル3 限定地域でのレベル3自動運転	レベル4 限定地域でのレベル4自動運転
実用化が 見込まれる 自動運転 技術	自動ブレーキ ・車線逸脱の検出 ・車線の維持 ・自動急減速 ・車線変更・分岐	限定地域での無人自動運転 ・自動運転サポートサービス	高速道路での完全自動運転 ・完全自動運転
乗用車 バス トラック	乗用車 バス トラック	乗用車 バス トラック	乗用車 バス トラック
開発状況	乗用車へ搭載	一部乗用車へ搭載	行企業による実用段階
			課題の整理

自動運転技術の開発状況と見通し
(出典:国土交通省「運転支援技術・自動運転技術の進化と普及」)

「経営理念」こそ「エンゲージメント」の基本

さて、このような自動車技術の革新を踏まえたうえで、今回の特集テーマに掲げた「経営理念を基にした商品・サービスの開発」について考えてみましょう。

「理念」とは、「利益の追求」や「企業の成長」といった具体的な「経営戦略」の前提となるものです。経営理念には3つの要素が不可欠です。それは「ミッション(企業の基本的役割)」、「ビジョン(企業の将来の姿)」、「バリュー(企業の考え方・文化)」の3つです。

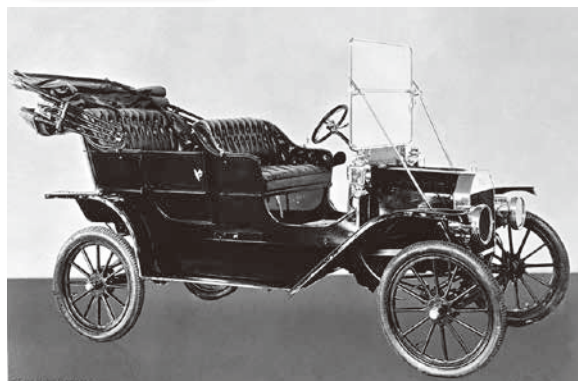
すなわち、たんに利益追求を図るのではなく、「経営理念」を踏まえた上で、お客様に喜ばれ、安全・安心なモータリゼーション社会への貢献にもつながる、商品・サービスの開発が



運転支援技術の普及状況(出典:国土交通省「運転支援技術・自動運転技術の進化と普及」)



「OBD検査」の概要(出典:国土交通省「車載式故障診断装置(OBD)を活用した自動車検査手法のあり方について(最終報告書)」)



大量生産技術の確立・進化により自動車の普及とアフターサービス網の構築に大きく貢献したフォード・モデルT(1908年式)と、同車を生産する1914年当時のハイランドパーク工場(右)



大切になるということです。

このような企業理念があいまいな状態では「商品・サービスの対価としてお金を得る」という、企業として当然の経済活動の根幹も揺らいでしまいます。経営理念を社長室に掲げるだけでなく、社員全員が共有し、会社外にも発信することで、お客様に支持され、社員も誇りをもってサービスに当たれるという「ハッピートライアングル」の構築が実現できます。

経営理念を社員全員が共有し、会社外にも発信し、自社の商品・サービスがその理念に合致したものであるか、つねにチェックしブラッシュアップしていくことが大切です。

お客様の安全、安心、快適をサービスの対価に

サービスショップは、何の対価としてお客様からお金を頂戴しているのでしょうか？

点検整備、钣金塗装、車両販売など、クルマに関するものであればいずれにおいても「お客様に安全・安心・快適にお車にお乗りいただくお手伝いをする」ことが、お客様にとってお金の対価となっているのは間違いありません。それが経営理念の中に盛り込まれていなければ、役員・従業員はもちろんお客様や社外の人でも目に見えて理解できるよう見直し、周知徹底す

る必要があります。

しかしここまでは、自動車アフターマーケットに身を置くサービスショップ全社に共通していることです。フォード・モデルTが誕生して自動車が広く普及するとほぼ同時に、そのアフターサービス網が構築された100年以上前から変わらないと言っても過言ではないでしょう。

ですから他社との差別化を図り、オンリーワンの存在価値、そしてお客様や従業員との「エンゲージメント」(強い絆)を確立するためには、経営理念と取り扱い商品・サービスをもう一步踏み込んだものにしなければなりません。

さて、冒頭のADASについて考えてみましょう。これほどまでに進化・普及が急速に進み、車検時の検査項目に追加されようとしているADASですが、一般ドライバーどころか業界関係者の中にさえ、「危険な状況になったらどんな時でもクルマが勝手に操作し危険を回避してくれる」と誤解している人は少なくありません。

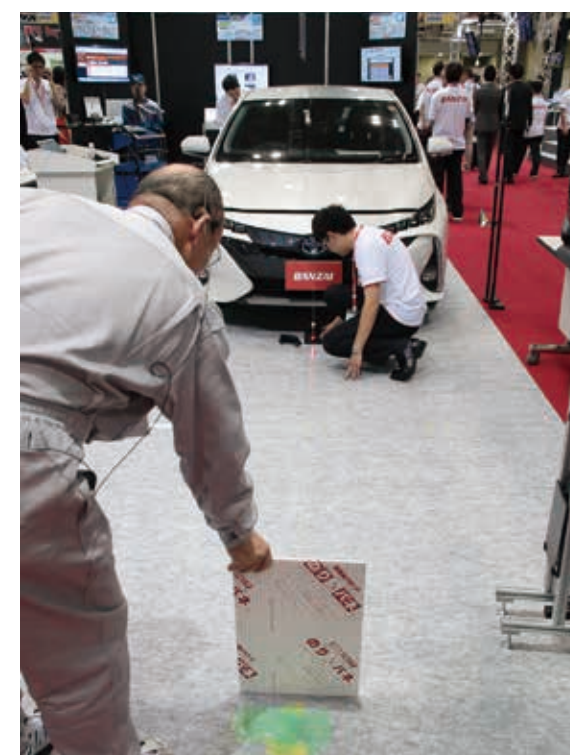
逆に、ADASの各機能を使用・体験したことがある人、またシステムの名称・総称は同じか似ていても車種や年式などが違えば対応速度や検知できる対象、さらにはセンサーの構成さえ異なる場合があることを把握している人は、決して多くないのが実情です。



トヨタ販売店における「インテリジェントクリアランスソナー」体験会の様子

そのため、ADAS装着車の取り扱いに二の足を踏むサービスショップは、今なお珍しくはありません。だからこそサービスショップの皆様がいま、ADASへの対応とその普及・啓発を、経営理念と取り扱い商品・サービスに積極的に取り入れる意義は、お客様や従業員との「エンゲージメント」をより強固にするうえでも、極めて大きいと言えます。

さりとて、前述の通りお客様・業界関係者双方の認知度がその正確性において低い現時点



オートサービスショー2017のバンザイブース「ASVエーミングセミナー」におけるエーミング作業実演の様子

ではまだ、大きく変わったことをする必要はありません。まずお客様と従業員に向けては、お店の敷地内で安全に実施できるレベルのADAS体験イベントを、可能な限り多くの車種・年式を使って定期的に開催しましょう。それが知識の正確性を高め、かつ自分の言葉でADASの有用性を語れるようになる一番の近道です。メカニックにはさらに、定期的に技術研修を受講させ、知識・技術を常に最新の状態に保つよう働きかけることが肝要です。

他にも例えば、経営理念が「一人でも多くのお客様により安全なクルマをお届けする」であれば後付け可能な安全装置の販売を積極的に展開したり、もしくは「自動車の販売・アフターサービスを通じてお客様にクルマの楽しさを伝える」ならばクロズドコースで走行会を開催する傍ら先進安全装備の体験コーナーを設けるなど、経営理念を基にした商品・サービスの開発にADASを活用する方法は無数に存在すると思われま

す。いずれにせよ、単に最新の技術動向を後追いするだけではなく、そこにプラスアルファのアイデアを、経営理念という会社の根幹からお客様や従業員へと枝を伸ばす形で展開することが、今後サービスショップの皆様が勝ち残っていくうえでのカギとなりそうです。

最新の店舗、設備でスバル車の魅力を発信 奈良県中央部エリアに、最新の旗艦店舗を完成

奈良県内に5店舗を展開する奈良スバル自動車(株)では、このたび大和郡山店を移転新築し、よりお客様に来店しやすく、居心地の良い店舗・ショールームと、より効率的かつ作業性の良いサービス工場を併設した新店舗へとリニューアルを実現しました。



大きなキャノピーのある外観が目を引く新店舗



オープンデッキに試乗車を展示



キャノピーからお客様駐車場、サービス工場へと続くエントランス

来店しやすく、居心地の良い集客型の店舗に

新しい大和郡山店は旧店舗から東へ約3キロ、奈良盆地を東西に横切る国道25号線に面し、西名阪道の郡山ICにも至近の立地です。敷地総面積は約6,000平方メートル、店舗・サービス工場を合わせて約2,000平方メートルと余裕の広さを実現しました。

新店舗は国道に面して斜めにレイアウトされたショールームと、その前面に大きく屋根を張り出した三角形のオープンデッキが目を引く斬新な外観です。

今回の店舗計画は、旧店舗が小規模でサービス工場も手狭であったことと、併せて「当社の65周年記念事業の一環として、また各店舗の中央に位置することから、将来的にも中心的な店舗として位置付けることが目的です」と、常務執行役員の植村公一氏。お客様の来店にも便利なアクセスに加え、居心地の良い店舗コンセプトを導入されています。



常務執行役員
整備部品部長
植村 公一氏



執行役員 営業副本部長
兼 営業企画部長
扇田 尋利氏



大和郡山店 店長
藤森 嘉弘氏



大和郡山店 工場長
梶谷 明良氏



ワークステージXと固定式フリーローラー
を設備した検査ライン



工場左側の車検、一般ストール。
すべてフラットタイプのリフトを導入



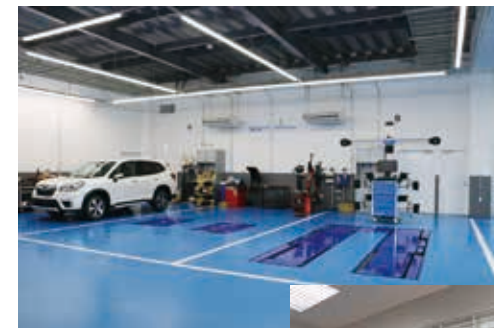
右2ストールが車検整備ストール。
下回り塗装用にカーテンを備える

エアコン完備、快適な作業空間を実現

サービス工場は検査ラインを合わせて9ストール。そのほか屋内洗車場1ストールと屋外洗車場が1ストールとなっています。車検、一般整備ストールにはクリオスリフト5基、ワークステージXリフト2基を設備。検査ラインにはトリプルテスター、固定式フリーローラー、ワークステージXリフト、ネットワークシステム等が導入されています。

「リフト不使用時も床面がフラットになり、作業性はもちろん入出庫もスムーズです」と店長の藤森嘉弘氏。ドライブオンのワークステージXなど、「飛び込みのサービスにもお待たせせずに、余裕で対応できるようになりました」とのこと。

また効率改善の一方、工場内には冷暖房にエアコンを完備するなど、快適な作業環境を実現。お客様に対しても、またリクルート面でもアピールできる店舗、サービス工場となっています。



工場東側一般サービスストール。
写真右側がアライメントストール



グローバルプラットフォーム
のカットモデルがお店のシンボル。アライメントストールも全面ガラス張りに



手洗い洗車ストール



屋外洗車場には門型洗車機、固定式下部洗浄機を設備

アライメントサービスに新たなニーズを探る

また今回、新工場の特徴の一つにあげられるのが、工場の右手前部分に設けられたアライメントストールです。ジオライナーとアライメント仕様のワークステージXにより、四輪アライメントサービスが正確かつ迅速に行え、他店舗を含めて将来的なニーズの拡大に対応していくことが目的です。「以前のようにカスタマイズを楽しむユーザーより、むしろアイサイトなどの安全面を支持される一般のお客様が拡大しています」と執行役員営業副本部長の扇田尋利氏。こうした足回りの知識がないお客様に対して「アライメントの不具合が数値で示せるので、お客様に納得していただきやすいのがいいですね」と、工場長の梶谷明良氏。積極的に計測データの蓄積に取り組み、さらに経験を積むことでアライメントサービスの提案や、足回り商品の販売にもつなげていきたいとのこと。



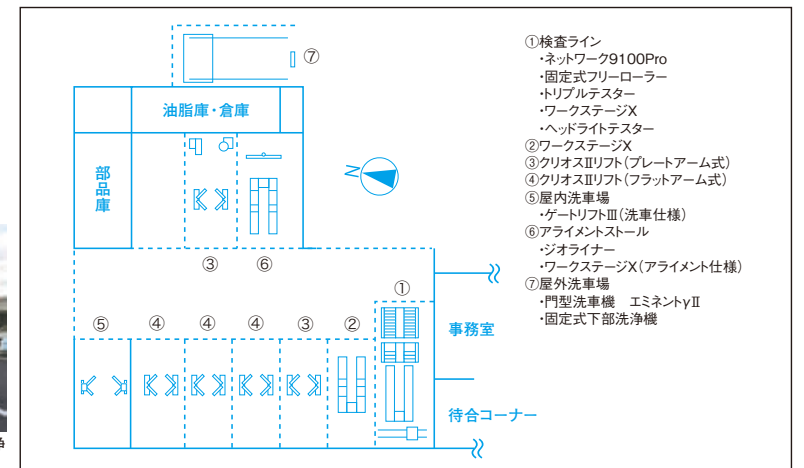
ショールーム入り口のフロント。
お客様を笑顔でお迎え



明るく広々としたショールーム



一枚ガラスの窓を通してサービス工場が一望できる



トヨペット店・GRガレージの複合拠点化で より来店しやすく、楽しい店舗コンセプトを実現

広島トヨペットではこのたび広島県西部の中核となる拠点として廿日市店の移転リニューアルを実施、店舗・サービス工場をともにスケールアップ、最新設備を導入するとともに、さらにスポーツカーブランドの「GRガレージ」を併設して新たな装いでオープンしました。



国道に面した廿日市店の外観。2つの店舗とサービス工場を併設



廿日市店 店長
小田 賢治氏



廿日市店 副店長
岡田 忠幸氏



廿日市店のショールーム。2階に商談コーナー、待合コーナーを配置 「GR」ブランドでモータースポーツやカスタマイズを提案

広島県西部のフラッグシップ拠点に

新店舗は広島から西へ、宮島方面へ向かう国道2号線に面して、敷地面積は約1,400坪。右にトヨペット店として「廿日市店」、左の駐車スペース奥に「GR Garage HATSUKAICHI」を隣接してレイアウトし、同社の新車店舗24拠点の中でも最大級となるスケールです。

今回の計画について「県西部地域におけるフラッグシップ店としての位置付けと、またGRガレージを併設することが当初からのコンセプトでした」と廿日市店店長の小田賢治氏。国道に面して高いパラペットのあるダイナミックな外観がランドマークとなっています。

「従来の廿日市店はリフト3基と手狭だったこともあり、ストール数も増やし、ストールのサイズも大きくとって整備作業も効率的になりました」と副店長の岡田忠幸氏。

2つの店舗と2つのサービス工場を併設

店舗奥のサービス工場は廿日市店として検査ラインと6ストール。GRガレージとして3ストール。ほかに新車点検等に3ストール、及び屋内洗車場を併設。そのほか全社の研修施設として2階に研修センターを設けています。

主な設備は、検査ラインにトリプルテスター、ワークステージX、自動画像式ヘッドライトテスターほか。また各整備作業場にイーグルNXが4基、フラットワークステージXが2基、タンデムリフトが1基。またGRガレージ用ストールにはイーグルNXが1基、アライメント仕様ワークステージX、四輪アライメントテスターなどとなっています。

整備作業場は全てのストール前面にキャビネットを配置し、周辺機器等を収納できるようになっており、作業効率の向上と作業環境、美観に配慮されています。



検査ラインにはトリプルテスター、ワークステージX等を設備



サービス工場全体をエアコンで空調。明るく快適な環境に

収納キャビネットがずらりと並び、リールも見えない位置に



2基のフラットワークステージXでクイックサービスに対応



GRガレージ専用のサービスストール、中央がアライメントストール



門型洗車機と下部洗浄機、床面にはFRPグレーチングを採用した屋内洗車場

地域のコミュニティ拠点としての位置付けも

このほか廿日市店にはお客様に気軽に来店していただけるようショールーム内にカフェを設け、また親子で工作などが楽しめる「ホビールーム」、また店舗2階には地域の催しなどに利用していただけるコミュニティスペースも設置するなど、多面的に来店促進のための工夫が凝らされています。

サービス面では「ドライブオンリフトを当初予定より増やして2基としたことで、オイル交換や半年点検など、クイックサービスにも余裕で対応できるようになりました」(岡田副店長)とのこと。環境面でも全店で初のエアコン導入により快適な作業環境を実現されています。

廿日市店ではオープン以来、土日、平日を問わず多数の来店で盛況とのことで、GRガレージでのイベント等も予定されており、複合店舗的なフラッグシップ拠点として今後の販売・サービス両面への効果が期待されています。



2階の研修センター。イーグルFXリフト2基、排気システムを設備

2階の待合コーナー。屋内外に壁面緑化を採用



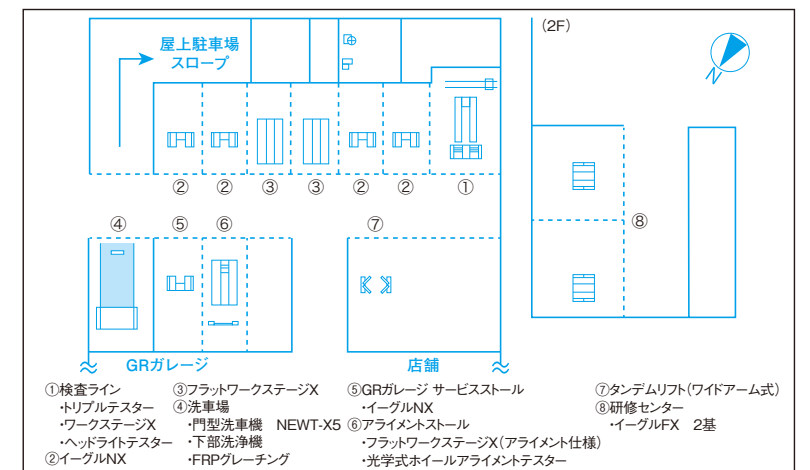
ショールーム奥側に設けた受付カウンター



カフェのある前側にも入口を設け、入りやすくオープンな感覚に



GRガレージの店内。カートやドライビングシミュレーターなどを展示



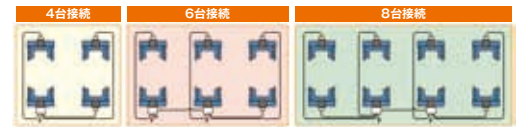
SHOW ROOM

大型車用移動式リフト RAV241

高い安全性、優れた安定性の電動スクリュウ方式、トラック、バス、連節バスのサービスに対応。

能力 7.0t 安定性に優れた電動スクリュウ方式!

- コンクリート厚160mm以上の平らな床面で使用可能。
- 油圧牽引ジャッキを装備、一人で簡単に移動可能です。
- 電動スクリュウ方式のため、万一の場合も落下がありません。
- 正確なコントロールでリフト間の確実な同調を実現。
- 4台、6台、8台の同時接続により、各種トラック、連節バスに対応。
(同時接続は最大8台まで)



※6台接続・8台接続につきましてはお問い合わせください。
※一部車種によってはリフトアップできない場合があります。

型 式	RAV241 (4台接続)
能 力 (kg)	7,000×4
適用タイヤ外径 (mm)	900~1,200
上昇時間 (秒)	約135
本体重量 (kg)	メインコラム 480 サブコラム460
電 源 (V)	AC200 三相
コ ラ ム 間 接 続	ワイヤード方式 (電源・同調)
移 動 方 式	油圧ジャッキ式

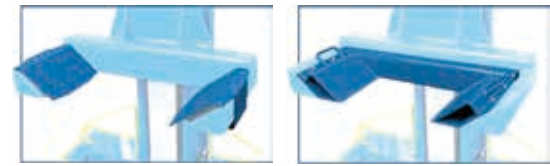
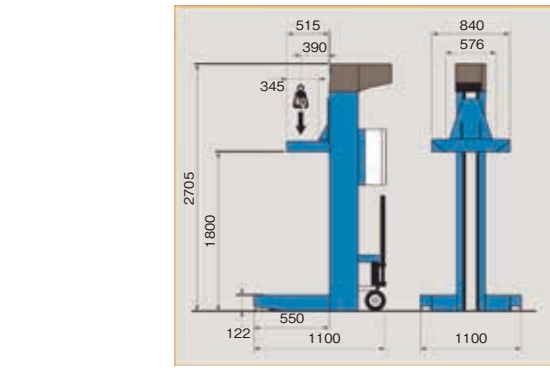
オプション

■フォークリダクション (4台1組)
タイヤ外径900mm未満の車両に使用

型 式	RAV270A3	RAV270A4	RAV270A8
適用タイヤ外径 (mm)	800~900	700~800	500~700

■サポートスタンド (1台)
リフトの補助やリジッドラックとして使用

型 式	RAV260A1	RAV260A2
能 力 (kg)	7,500	10,000
高 さ (mm)	1,330~2,030	1,235~2,040
高 さ 調 整	ピン方式	ピン方式+スクリュウヘッド
キ ャ ス タ ー	2輪傾斜移動	3輪 (スプリング式) 水平移動可



SHOW ROOM

全自動画像処理式ヘッドライトテスター HT-538

正確無比の全自動テスター、最新技術搭載でフルモデルチェンジ!

- 新計測機能の採用により、測定時間及びテスター移動時間を約30%短縮(※)
- 配光追従性能を向上
 - ・高性能コンピューター搭載、解像度2倍(※)
 - ・新規画像処理プログラムで応答性の大幅向上を実現
- 新開発機能の採用により「すれ違い灯/カットあり」モード時のランプ中心をより正確に測定。

※当社前モデル比較

型 式	HT-538	
本 体 寸 法 (mm)	W852×H1,508×D699	
重 量 (kg)	約86	
光度測定範囲 (hcd)	0~1,200	
照 射 方 向 測 定 範 囲	走行灯 (cm/10m)	上15~下35 左30~右30
	すれ違い灯 (cm/10m)	上10~下35 左30~右30
ランプ取付高さ (cm)	25~120	
標準消費電流 (V/A)	AC100/0.8	
使用電源 (V/A)	AC100/3以上	

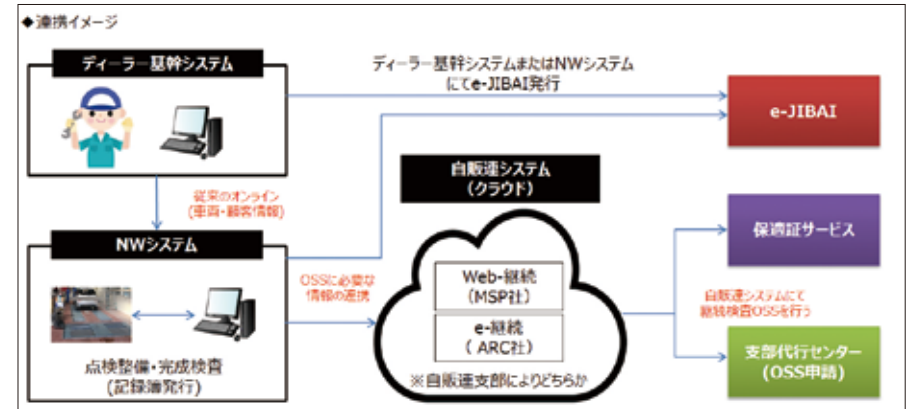


自販連OSS連動ソフト NW9100-AP-JADA

ネットワークシステムとオンラインで、継続検査のワンストップサービスを実現!

- NW9100と自販連の継続検査OSS登録システム (web継続検査登録システム、e-継続システム) をオンライン。
- 電子保適およびOSS申請に必要な車両・顧客情報を自販連システムに送信。

NWとオンラインOSSを実現!

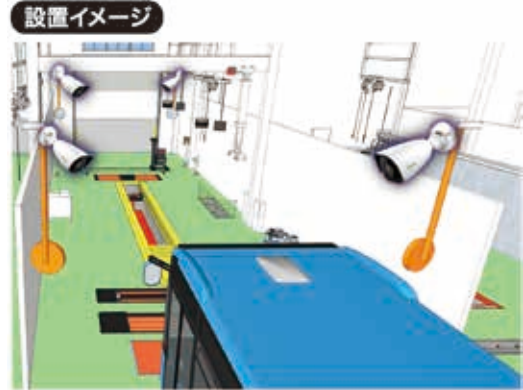


【web継続】MSP:(株)エムエスピーのシステム
【e-継続】ARC:アプリケーション・リサーチ(株)のシステム

SHOW ROOM

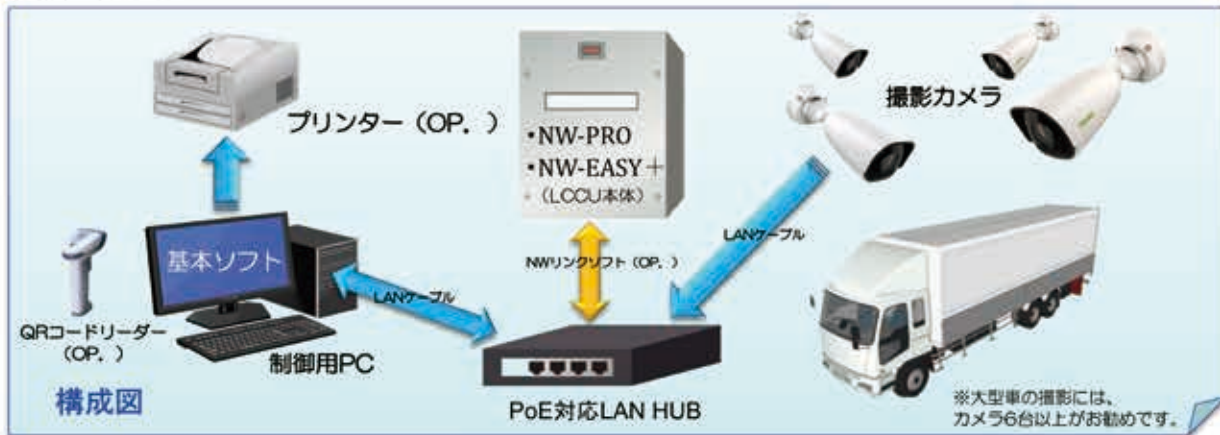
【車両画像管理システム】 フォトサーバー PHSV-BZ

検査時に車両を自動撮影!
車両情報に関連付けて保管・管理が可能!



- 登録した車両データと写真データをひも付け! 写真の保管・管理が簡単になります。
- 4台のカメラで映像を確認しながら撮影。カメラは最大12台まで増設が可能
- 撮影する写真を制御用PCで確認可能!
- 検査ラインからの操作により、写真撮影が可能 (オプション: PHSV-BZ-NWOL)

構成



品名	フォトサーバー 標準パック
型式	PHSV-BZ
標準品	・基本ソフト ・IPカメラ4台 ・PC・モニター ・HASPキー (USBセキュリティー) ・POEハブ (16ポート)
撮影画像サイズ	200万画素 (1920×1080)
パソコンスペック	OS: Windows10Pro 64bit CPU: Corei3 以上 メモリ: 4GB 以上 HDD: 500GB 以上 ※外部HDDも可 ドライブ: DVDドライブ (インストール用) USB: USB×2 以上 (HASP, QR) LAN: 有線LAN (1000Base-T) ×1
接続可能LCCU	L9100 VER 4.4.1以上
オプション	・増設カメラ (PHSV-BZ-PC) 最大12台まで ・NWリンクソフト (PHSV-BZ-NWOL) ・QRコードリーダー (有線: NW-BR) ・QRコードリーダー (無線: NW-BR-LCCU-WL)

LANケーブル、設置工事費用は別途です。

- ・工場環境に合わせて5台目以降のカメラ増設可能。
- ・カメラの設置位置は、任意で調整できます。
- ・カメラをグループ設定することでストールごとの撮影が可能。
- ・オプションで検査ラインでの自動撮影が可能 (ライン連動)

SHOW ROOM

【大型車用固定式フリーローラー】 フラットフリーローラー軸重10t FFR-500

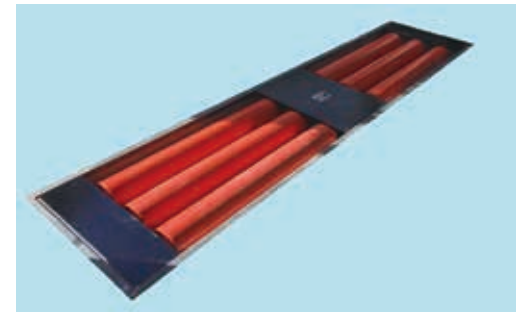
検査ラインがすっきりフラット!
つまづきによる転倒を防止、安全な作業環境に!

- 従来のIRW-500-4をモデルチェンジ、左右連結式フラット仕様に改良。
- 上面カバーをフラット化しFLと同一レベルに。
- 作業者のつまづきによる転倒を防止します。
- 本体高さは500mmでコンビネーションテスター (BST-500)と同一の高さとなっています。



型式	FFR-500
許容輪荷重 (kg)	5,000
許容速度 (km/h)	120
ローラー間隔 (mm)	225
ローラー径・有効長さ (φ×mm)	185×1,250
ローラー最大幅 (mm)	3,100
使用空気圧 (MPa)	0.97
本体寸法 (カバー含まず) (mm)	L674×W3,510×H500
本体重量 (カバー含まず) (kg)	約700
本体総重量 (カバー含む) (kg)	約735

※電磁弁、スパークキラー、サイレンサ、クイックユニオン、端子台が標準付属。
※連結用カバー (オプション) の使用により、2連、3連以上の連設が可能。



設置イメージ

【内燃機洗浄液】 エンジン洗浄剤 500ml RMC-3E-05

エンジン内部洗浄で、カーボン除去、燃費改善、パワーアップ!

- ガソリン車、ディーゼル車、ロータリー車、ハイブリッド車まで幅広く対応。
- エンジンを運転しながら洗浄が可能。
- 航空機、船舶などで30年以上の実績!

安全で環境にやさしい洗浄剤です!

- 生分解度はOECD基準を満たし、排水による環境汚染がありません。
- エンジンの燃焼効率を良好に維持できるため、HC、CO₂、NO_x、PMの発生を抑制。
- 煤煙の発生を80%近く減少します。
- 不燃性のため高温環境下でも安心して使用できます。
- 無毒ですから防毒マスクの使用する必要がありません。
- 結氷点は零下15度のため寒冷地、冬期も使用できます。

燃費改善!

パワーアップ!



SHOW ROOM

■ 気化式冷風機 RKF406

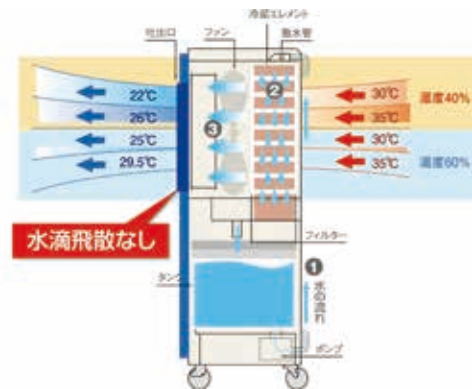
電力削減で省エネ・コスト削減! 作業環境をクールに、快適に!



夏場の節電は空調電力削減から



消費電力が少ないからCO₂削減に貢献。電気代を大幅に節約できます。



型 式	RKF406	
電 源 (V)	100	
(Hz)	50	60
冷房能力 (kW)	3.9	4.4
風量 (最大) (m ³ /min)	105	116
連続使用時間 (h)	10.0	8.9
風向・風量	左右・上下オートスイング、風量可変	
本体寸法 (mm)	L563×W550×H1,367	

- 涼風エリア拡大
6m先の左右3mのエリア
- 対象人数2~4人
- イヤなにおいを抑制する消臭パック付
- 本体とタンクが分離できます。
(掃除・メンテが楽)

SHOW ROOM

■ ハイエース用リフト受金 GQH109/108 FQH109/108

200系ハイエースの特殊形状に合わせた専用受金で、リフトアップが安全・スピーディ!

当社独自の「**ハイエース用受金**」を
活用して安全なリフトアップを!!

ハイエースに合わせた**専用設計**のため、安定したリフトアップが可能です。

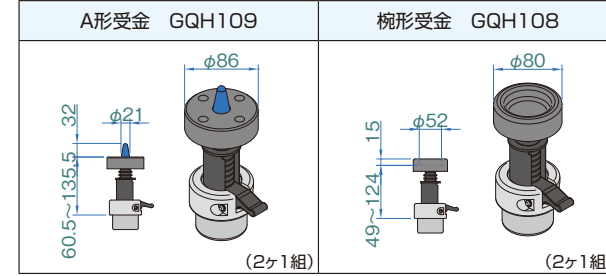


セッティング事例

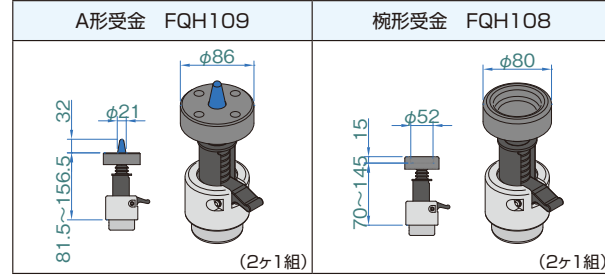
フロント部
↓
A型受金

リア部
↓
楕型受金

< Gシリーズ用 >



< Fシリーズ用 >



< 受金対応表 >

Gシリーズ	Fシリーズ		
・ゲートリフトⅢ GPY-27/32シリーズ (NAL薄型アーム仕様を除く)	・イーグルFXリフト EGY-F32シリーズ	・イーグルNXリフト EGY-32シリーズ	・タンデムリフト DPL-TP30●●●-Y/-YS/-Q型式仕様 以外
・ゲートリフト・スリムⅡ GLY-40シリーズ	・タンデムリフト DPL-TP30●●●-Y/-YS/-Q型式仕様 のみ	・Zバスカルリフト DPL-40Z(FK)-Q仕様のみ	・クリオスⅡリフト DPL-302AMF/AZMF/AZMF-V
・Zイーグルリフト ZLY-32シリーズ	・クリオスⅡリフト DPL-302AMF-Q/AZMF-V-Q仕様 のみ	・ダブルバスカルリフト DDL-PS430N●●●-Q仕様のみ	・Zバスカルリフト DPL-40Z/ZFK
	・ゲートリフトⅢ GPY-32NAL(薄型アーム仕様のみ)	・フラット・Zイーグルリフト ZLY-F32シリーズ	・ダブルバスカルリフト DDL-PS430N●●●
	・フラット・ワークステージ WSX-F130シリーズ	-	以下リフトは別売の(クイックアタッチメントアーム)を装着している場合に対応可能 型式: DPL-ARM-G

お早めに!! シーズン直前! 2大特典付き! 100台限定、スペシャルキャンペーン

特典 1 ニオイの発生を抑える消臭パック2個付き!
・1個で約1か月効果が保たれます。

特典 2 不使用時の保管に便利な専用収納カバー付き!

MSC経営戦略会議 第119回研究会を開催



議長、山崎太氏の開会挨拶

全国の自動車サービス業の先進的経営者で組織するMSC経営戦略会議では、さる2月13日～14日の2日間にわたり、東京港区の三田NNホールを会場に第119回研究会を開催しました。

今回は日本総合研究所の主席研究員、佐藤和彦氏を講師として「オートアフターマーケットの将来推計～2040年の姿～」をテーマとして講演が行われました。

佐藤講師は日本全国を1,306のエリアに区切り、各地区における人口、保有台数、整備工場の経営の推移を統計分析の手法を用いて推計し、将来的に人口、保有台数ともに減少が予測される中、自社商圏における需給予測に基づいた対応策をとることが重要になると解説されました。

2日目はわが国の宇宙開発の研究施設であるJAXA相模原キャンパスに移動し、最先端の宇宙科学研究の成果に間近に見学し、2日間の研究会を終わりました。



講師、佐藤和彦氏による講演



全国各地から参加者が集まる様子



さまざまな宇宙研究に携わるJAXA相模原キャンパスを見学



固体燃料ロケットの先端部のカットモデルも展示



衛星の打ち上げに使用される巨大なロケット

感動夢工場 第18回定時総会・第40回研究会を開催



会長、高間専逸氏の開会挨拶

らくらく車検工房、四輪工房、リペア工房など、各工房ショップの集まりである感動夢工場では、3月12日～13日の2日間にわたって、東京港区のチサンホテル浜松町を会場に、第18回定時総会及び第40回研究会を開催しました。

総会においては平成30年度の事業・決算報告、次いで役員改選、2019年度の事業計画・予算案の審議、議決を行い次年度の体制、活動方針を決定しました。

研究会では、テクノウェーブ代表、村上秀敏氏を講師として「ASV車両におけるエーミング調整の現状とOBD検査導入の動向について」と題して講演が行われました。まもなく導入が予想されるOBD検査への対応について、参加者の高い関心が寄せられていました。



講師、村上秀敏氏による講演



(株)バンザイ、藤盛保包取締役が挨拶

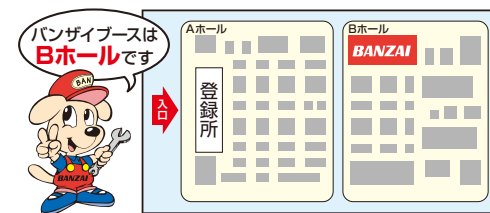
2日目は東京ビッグサイトでの第17回オートアフターマーケットEXPOに研究の場を移して、次世代自動車整備など多様な分野に広がるアフターマーケットの未来像について興味深く見学を行いました。

BANZAI GUIDE

第36回 オートサービスショー2019



変化するアフターマーケットに向けて、 未来サービス構築への各種提案を発信!



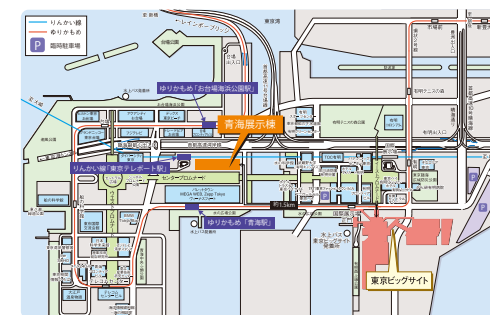
バンザイのブースで、お待ちしております!

日時
2019年5月16日(木)～18日(土)

場所
東京ビッグサイト「青海展示棟A・Bホール」

<最寄り駅までのアクセス>

- りんかい線**
「東京テレポート」駅下車 徒歩約2分
- ゆりかもめ**
「青海」駅下車 徒歩約4分
「お台場海浜公園」駅下車 徒歩約6分



編集後記



「第36回オートサービスショー2019」にて、BANZAIブースを

と自動車整備」に沿った商品を多数取り揃えて、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

と自動車整備」に沿った商品を多数取り揃えて、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

展示会場が変更(青海展示棟)になり、展示スペースは前回より縮小されておりますが、テーマ「次世代へ 変わるクルマ